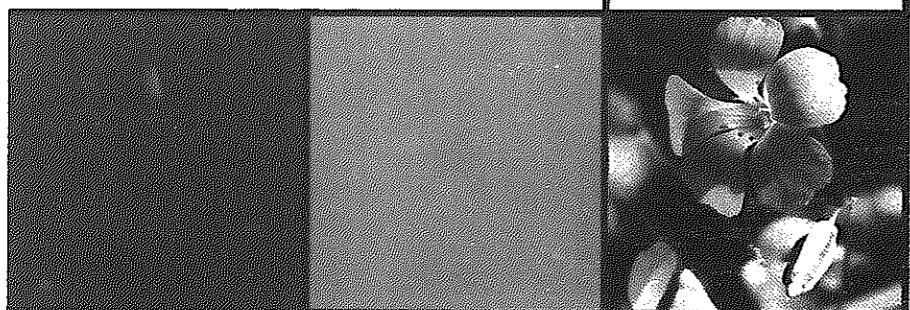
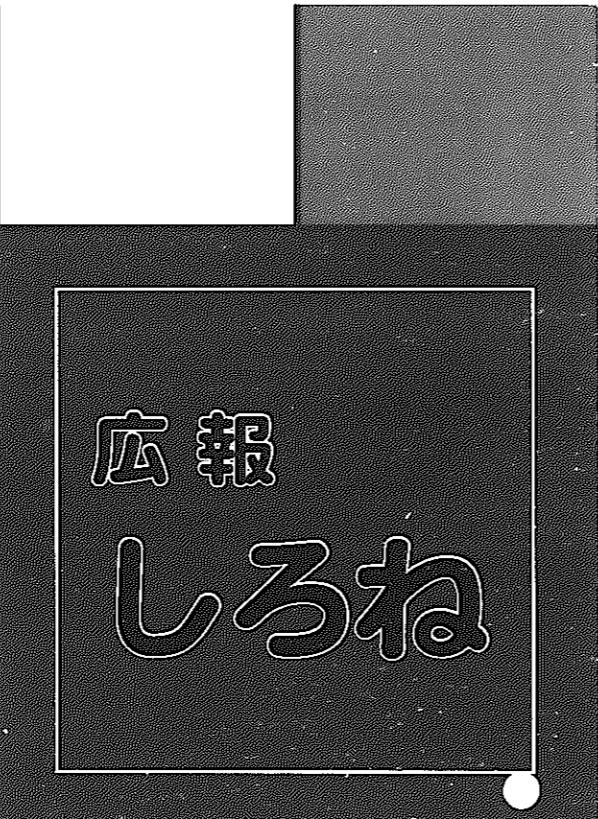


## 特集 綱に伝わる心 白根大凧合戦

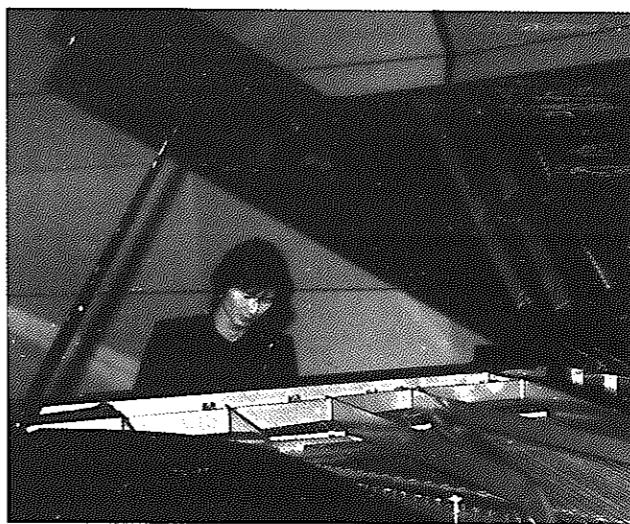


### CONTENTS (もくじ)

綱に伝わる心	2、3
市政クリップ	4
まちの話題	6、7
社会を明るくする運動	8、9
お知らせ	10~13
みんなのページ	14
ズームアップ	16

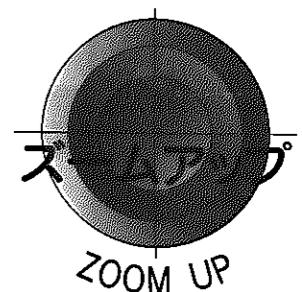


※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

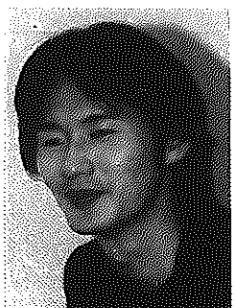


五月三十日、白根学習館で、市制施行四十周年と同館のしゅん工を記念して、小杉真二さんのピアノリサイタルが行われました。豊かで澄んだピアノの響きに、ラスベックホールを満席にした五百人の聴衆が魅了されました。小杉さんは現在東京都を中心に行なうる、新飯田地区出身の若手ピアニスト。「ピアノを始めたのは小学校に入学したころ。ずっと続けたいと考えたのは中学生くらいからです」と言います。平成元年、国立音楽大学へ入学。多くの国内コンクールに上位入賞し、平成四年、クラウディオ・ソアレス氏に師事するため、大阪芸術大学へ編入学します。「氏には大学を移つてまで習いたいと思った。美しい音を引き出す指導力のある先生です」と言う小杉さん。翌年、イタリアで行われた「マルサラ国際ピアノコンクール」に入賞します。当時は学生だったこともあり、この受賞は海外の価値観で認められ、とてもうれしかったそうです。

今回のリサイタルについて、「白根市にこのようなホールのある施設ができるのは素晴らしいこと。しゅん工記念に演奏することができてうれしいです」と話してくれました。



## 澄んだ音の演奏者



小杉真二さん

## ウーツオ (ボリネシア)

巨大なうちわの形の凧です。周囲はハイビスカスの枝を曲げて作ります。下に突き出した細い丸竹の心棒に、長い尾をつけて揚げます。パンノキの皮をすいた凧です。カメやサメ、日の出を象徴する絵が描かれます。

ボリネシアは南太平洋に点々と浮かぶ、さんご礁の島の国です。一年前、ファヒネ島のエドワード・ピハ夫妻が日本を訪れた際、白根に立ち寄つて作ってくれました。ファヒネ島は、印象派の画家ゴーギヤンの名画で知られるタヒチの近くの島です。しろね大凧と歴史の館で、奥さんのサポートを受けながら大きな凧を作ってくれました。

### ▶数字で見る市勢 ※6月1日現在 ※( )内は前月比

人口	40,775人(+43人)
男	19,973人(+ 9人)
女	20,802人(+34人)
世帯	10,990世帯(+33世帯)
出生	34人 死亡 32人
5月中の 転入	94人 転出 55人

◎昨年の大凧合戦で、20年ぶりに技能優勝を果たした我が桜蝶組。今年もトータル18戦(成績は15勝15敗)で、2年連続の技能優勝に輝きました。この18戦という合戦数は、300余年の歴史を持つ大凧合戦の新記録です。◎喜びに酔いしれていると、6歳になる愛娘が「パパ、あんなにいっぱい負けてるのにどうしてうれしいの」とひと言。娘は弱い桜蝶組が気に入らないようです。(ま)



夫妻が白根に来てくれたことを歓迎して、ミニ凧揚げ大会を開きました。五月晴れの空に、白根の大置凧と並んで、よく揚がりました。「これ揚がるの」と、抱いていた疑問も解消しました。ファヒネ島ではウーツオ(UO)と呼び、白という意味だそうです。

## あなたも凧博士

文・田村和雄  
(しろね大凧と歴史の館運営委員会委員長)